

上田ゆきこ



私たちが
文京区議会議員

無所属

4期の実績

プロフィール

- 1981年 富山県生まれ 音羽在住 ●富山県立高岡高等学校卒業 ●お茶の水女子大学文教育学部卒業 ●お茶の水女子大学大学院修士課程修了
- 2007年 文京区議会議員初当選 ●2011年 // 2期目当選
- 2015年 // 3期目当選 ●2019年 // 4期目当選
- 2017年～2018年 文京区監査委員 ●文教委員長
- 議会運営委員 ●自治制度・地域振興調査特別委員
- 会派「創〔sow〕」幹事長

重要 新型コロナウイルス 関連情報について

新型コロナウイルスに関する一般的なご相談先	
文京保健所	電話番号:03-5803-1836 受付時間:9:00～17:00(平日)
東京都福祉保健局	電話番号:0570-550571 受付時間:9:00～21:00(平日)
厚生労働省	電話番号:0120-565653(フリーダイヤル) 受付時間:9:00～21:00(毎日)

上田ゆきこの議会活動レポート Vol.50 4月1日発行

創Sow [そう]

〒112-0003 文京区春日1-16-21-22階
✉ info@uedayukiko.jp

あなたの想いを聞かせてください。

home page

face book

その他、中小企業への緊急支援等の経済対策情報、学校や保育等の情報は文京区新型コロナウイルス特設サイトをご覧ください。



NEW! 予算が成立

文京区令和2年度一般会計予算案 **1,112億7,000万円**

文京区史上最大規模

新型コロナウイルス感染症の影響がその事業執行にどのくらい表れるのか、見通しが立たない部分がありましたが、令和2年度行政運営のベースとして審査を行い、会派や上田の予算要望が多く取り入れられていることを評価し、賛成しました。

2月定例会中、議員、関係職員に一人でも感染者を出した場合には議会が停止し、4月からの事業執行に影響が出る恐れがあったため、日程を過密にすることで前倒しし、3月19日に議決、成立しました。

※予算総括質問や予算解説は facebook ページをご覧ください。

文教委員長として

文教委員会は子育て支援や学校教育等について取り扱い、令和元年度は岩井臨海学校や移動教室、学校改築、学力調査、ひきこもり等対策事業等について議論をし、学校図書館やICT教育等についての視察も行いました。

令和2年度も新型コロナウイルス感染症による休校について、今後どのように学習機会を確保するのか等、重要な課題について、区民本位の議論が行われるよう委員長として努力していきます。

会派幹事長として

会派「創〔sow〕」を結成して1年、自身の議会活動や会派業務のみならず、議会運営に貢献する役割を担わせていただき、忙しくも学びが多かったと省みます。

会派の読み方〔sow(そう)〕は「種を蒔く」という意味で、私たちの提案する政策が芽を出し、葉を大きく広げ、実を結ぶ樹木になって、区民生活をさらに豊かにしていきたいという思いを込めています。

令和2年度以降も議会質問や予算要望、意見書案等の提出など機会をとらえた政策提案を続けていきます。

NEW! 政策アイコン一部変更

新 3 高齢者・若者 地域力アップ

旧 3 高齢者 地域力アップ

上田ゆきこは2007年に25歳で初当選したときから世代間格差の問題に取り組んできました。高齢者が生き生きと地域で暮らし続けられる地域包括ケアシステムの構築は社会保障の安心や財政の持続可能性を図るという意味で究極の若者政策だという信念を持っています。私の政策コンセプトがより明確になるよう政策アイコンを「高齢者・若者」という政策カテゴリに変更します。

お詫び 今年の区政セミナー開催を見送ります。

毎年5月に開催していた区政セミナーですが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響による区民施設利用制限の見通しや参加者の健康を守るため、開催を見送ることにしました。皆さんと一緒に勉強したいテーマがあったので、残念です。

公衆衛生に関しては、2014年に国立感染症研究所や内閣官房から講師を招き、新型インフルエンザに関するセミナーを行い、感染症の封じ込めの大切さなどを学びました。

これまでの区政セミナーで学んだ知見を今後の政治活動にも生かすとともに、開催が可能な状況になった際にはさらに面白くて役に立つ政策テーマを取り上げたいと思います。

※過去のセミナーについて facebook ページのイベントでご確認ください。

1 子育て

質も量も



新設認可保育園へ
園庭設置の要請を

Q 文京区では園庭のない保育園の割合が6割と未設置園が多い。私立認可園の誘致にあたり、園庭設置をどう要請しているか。



A 園庭整備が可能な物件が少ない状況。可能な限り園庭が確保できるよう、計画段階から保育運営事業者と協議を行っている。

区長

2 教育

学力日本一



教育用タブレット端末を
児童・生徒 一人一台へ

Q 国の「新時代の学びを支える先端技術活用推進方策」では、教育用端末一人一台等、具体的な授業改善や調達の方法が提示されている。どう取り組むか。



A いくつかのモデル例は、効果的な学びの支援やICT環境整備に係る費用の低減等に資すると認識。今後研究を進める。

教育長

3 高齢者・若者

地域力アップ



若年層に向けた
就労支援事業強化を

Q 就職氷河期世代に対し、都の地域人材ダイバーシティ推進事業等のリカレント教育を広報誌、継続した支援で正規雇用につなげるべきでは。



A 就職応援セミナーや個別カウンセリングによるマッチング支援を行うとともに、マッチングが成就した後のフォロー体制も整えていく。

区長

4 文化・芸術
・生涯学習

いつも身近に



小石川図書館は
竹早公園と一体的再整備を

Q バリアフリー等に課題のあった小石川図書館の建て替えにあたっては竹早公園と一体的整備を行うことで閲覧席等の必要面積を確保しては。



A 「文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会」で必要機能や適正規模について検討し、隣接する竹早公園を含めた整備については関係部署と協議をする。

教育長

5 防災

公共自の備え



災害時のペットの
同行避難のニーズ調査を

Q 各避難所の同行避難可能頭数とニーズ量を調査した上で、新たな施策が必要なかの確認・検討を。



A 災害の状況によって、各避難所の受け入れ可能数等を想定することは困難だが、過去の事例や、避難所における受け入れの調整方法などを研究していく。文京獣医師会等との連携や他県市への要請も含め、他の飼養場所の確保も検討する。

区長

6 医療・スポーツ

効果も効率も



ボールが使える公園や
子どもの遊び場の拡充を

Q 子育て世代から、遊び場や公園を増やしてほしいという要望が多い。緑の基本計画改定の中で、人口増に合わせた緑の整備や遊び場の確保の具体的な数値目標を。



A 年少人口の増加に伴う遊び場確保の必要性は認識している。今後の研究課題。現在、「緑の基本計画改定協議会」において、緑の保全や創出の目標設定について、検討を進めている。

区長

7 まちづくり

ハードもソフトも



Bーぐる第三路線(本郷・湯島地域)
の早期実現を

Q Bーぐるの新路線は高齢者の社会参加、b-lab利用者の地域偏在是正のために湯島地域への新路線開設は急務。方向性と今後のスケジュールは。



A 本郷・湯島地域を新規路線の導入区域として進めたい。今後、導入区域におけるニーズ調査を実施し、バス事業者の選定や関係機関との協議等を行う。

区長

8 多様性

生き方あり方の
尊重



パートナーシップ宣誓を活用した
高齢期の意思決定支援を

Q 新しく始まるLGBTのカップルのパートナーシップ宣誓受領書交付について、高齢カップルが医療・介護サービス等を利用する際には事業者と連携し、その他の法的サポートの案内などの意思決定支援をしてほしい。



A 事業者にはパートナーシップ宣誓の趣旨や当事者の意志の尊重について周知する。宣誓を行う方には公正証書と宣誓書受領証の相違点や相談先の案内等、丁寧な説明を行う。

総務部長